

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	公園みどり課	
施策	26	都市基盤施設の維持・強化	評価 責任者	富樫 正幸	内線 7260
小施策	26-4	都市緑化の推進	評価 シート 作成者	藤村 幸道	内線 7261

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
花と緑のガーデン都市づくり事業におけるハンギングバスケットについては、設置数日本一を継続するとともに、質の向上を図る必要がある。また、緑を創出するために公園と街路樹の適正な維持管理を行う必要がある。		生活に緑とうるおいをもたらすために公園や街路等の公共空間の緑化を推進するとともに、適正な維持管理を行う。また、市民の緑化活動を支援するなど、私的空間の緑化を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市街地, その他の市域 市民		公共空間及び私的空間が緑化されている。 市民協働による緑化活動が継続する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標① 緑地推進制度の利用件数		単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成 果 の 要 因 分 析
当初値 (H25)	280	件	↗			
R1目標値	300					
R6目標値	315					
				<p>・花苗の配布等により各町内の緑化が図られた。</p> <p>・公園等の緑化活動を行なっている市民への支援や、施設の補修や更新が不十分である。</p> <p>・街路樹の害虫の発生や枝の張り出しなどマイナス面の影響により、緑(化)地の推進にあたって地元理解を得る上での課題となっている。</p>		
				問題点	⇒	問題の要因分析
						<p>・町内会等による花植えや公園管理により緑化に対する意識が向上していると考えられる。</p> <p>・ハンギングバスケット事業や緑花まつり等のイベントにより緑化に対する意識が向上していると考えられる。</p> <p>・社会経済状況の悪化により適正な維持管理のための予算確保が困難となっている。</p>

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<p>★ 新たな財源確保と、市民・事業所・団体等が協働で緑のまちづくりを行う仕組みづくりの検討を行う。</p> <p>☆1 市民等へ協働を呼びかけるにあたり、高所作業が伴う街路樹管理など、安全面や技術的な面から公が管理すべき分野について、継続的かつ確実な対応に向け、財源確保等の手法を検討する。</p> <p>☆2 ハンギングバスケット事業について、持続性および安全性を考慮したりリニューアルを検討し、事業の質向上を目指す。</p> <p>☆3 小施策の目的に対して効果が限定的である事業や、ニーズに合わない事業については、事業の見直しを検討する。</p>	